

<対策のポイント>

将来有効な木材生産基盤となり得る路網整備に向けて、ICT等を活用した路網作設等のための高度な知識・技術を有した技術者を育成するとともに、木材生産現場における高度技能者を育成します。また、国有林において、市町村等の技術者育成の支援に向けた実践的な取組を実施します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（30百万m³ [平成30年度] → 40百万m³ [令和7年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業

40,000（40,740）千円

将来有効な木材生産基盤となり得る路網整備に向けて、ICT等の先端技術を活用した路線選定、設計、施工等の路網作設等に関する高度な技術者の育成を実施します。

2. 路網作設高度技能者育成事業

19,952（30,172）千円

木材生産現場におけるICT等先端技術を活用して路網作設することのできる高度技能者を育成するための取組を支援します。

3. 路網を活かした森林作業システム高度技能者育成事業

35,000（36,242）千円

木材生産現場におけるICT等先端技術や路網を活かした森林作業システムを運用できる高度技能者の育成を実施します。

4. 国有林におけるICT等先端技術ツール整備等

22,406（22,406）千円

市町村等の技術者の育成支援に向けて、国有林におけるICT等の先端技術ツールの整備による実践的な取組等を実施します。

<事業の流れ>



※ 4は国有林による直轄事業

<現状と課題>

人工林資源が充実

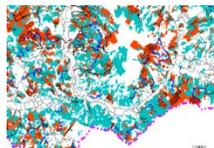


林業の生産性が低い

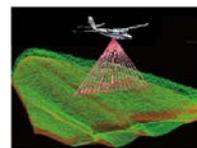
路網整備の遅れ

<ICT等を活用した路網整備のイメージ>

○効率的な現地情報の把握と路網整備



森林GISを用いて、施業履歴の見える化



航空レーザ計測データの活用



CS立体図で地すべり等地形種を判読



路網選定案の作成



効率的な路網設計



路網整備

<成果>

○森林施業の低コスト化による国産材供給・利用量の増加



集材



運材

【お問い合わせ先】 1～3の事業 林野庁研究指導課（03-3502-5721）
4の事業 林野庁経営企画課（03-3502-8347）